

新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止ガイドライン

2021（令和3）年10月10日

奈良県小学生バレーボール連盟

9月30日をもって緊急事態宣言の全国的な解除を受け、県内各市町村においても様々な活動が段階的に再開されました。奈良県小学生バレーボール連盟では、スポーツ庁、日本小学生バレーボール連盟、各市町村から出されている感染拡大予防ガイドラインに従い、感染防止対策を徹底しながら、大会開催に向けて準備を進めていきたいと考えています。

1 実際の活動場面における注意事項（指導者・保護者・選手の皆様）

（1）練習を行う際の感染防止対策

- ・選手同士が手をつなぐ、腕を組むなど、接触しないような練習方法を工夫する。また、練習前には、必ず検温をしてから参加し、風邪気味や体温が高いときには、練習に参加させない。
- ・施設の広さに応じた適切な人数となるよう留意すること。また、こまめに換気を必ず行うこと。
- ・汗拭き用のタオル、飲み物の水筒等は個人用として使用し、共用しない。
- ・指導者（ベンチスタッフ）は、マスクを着用し、身体的距離を守り、話は短めにする。
- ・活動中はこまめにうがいをする。練習後は、手洗い、うがいを必ず行う。
- ・練習の行き帰りは、マスクを着用する。特に指導者と保護者は、必ず着用する。
- ・活動中に選手の体調不良が把握された場合は、速やかに帰宅させるようにすること。
- ・昼食時は、選手同士の距離を空け、静かに食べること。
- ・トイレや体育館の入り口等に設置されているアルコールによる消毒液で手指消毒を行うこと。なお、健康上の理由で手指消毒液を使用できない場合は、手洗いをしっかり行うこと。

（2）大会運営時の感染防止策

- ・チーム責任者は、選手の大会前2週間の健康観察を実施し、健康観察カードを提出すること。
- ・トイレや体育館の入り口等に設置されているアルコールによる消毒液で手指消毒を行うこと。
- ・開、閉会式などの密になるプログラムは簡略化する。
- ・観客席は、使用会場のガイドラインに沿って使用する。
- ・観客席では、マスクを着用し、声援は送らず、静かに試合を観戦し、会話も控える。
※健康上の理由等でマスクが着用できない方もおられるので、互いに配慮し合う。
- ・換気を意識し、適宜外気を取り入れる。
- ・ドアノブ、スイッチなどは、午前、午後に消毒を行う。また、試合が終了するごとに使用した机・椅子の消毒を行う。
- ・ベンチスタッフ、審判はマスクを着用する。
- ・審判（主審・副審）は、電子ホイッスルを使用する。ただし、マスクやホイッスルカバー等を使用し、感染防止対策を行うことができているならば、通常のホイッスルを使用してもよい。
- ・試合球は適宜消毒する。
- ・引率は、各チーム成人12名以内とする。体育館に入館できなかった引率者の体育館出入口付近での観覧は密になるので控えること。（※近畿大会に出場するチームは、近畿大会の大会要項もしくは、ガイドラインで引率者数を確認すること。）

※大会終了後、チーム関係者が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、医師や保健所の指示に従い、必要な場合は速やかに奈良県小学生バレーボール連盟事務局に報告すること。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、ガイドラインの内容を変更する場合がある。